

経営比較分析表／団体全体（令和3年度決算）

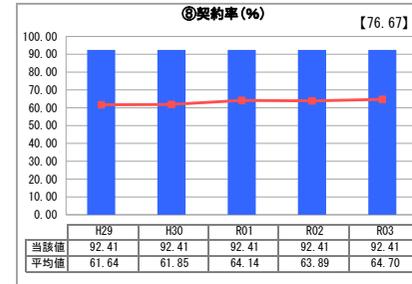
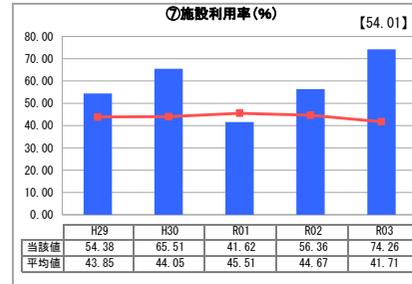
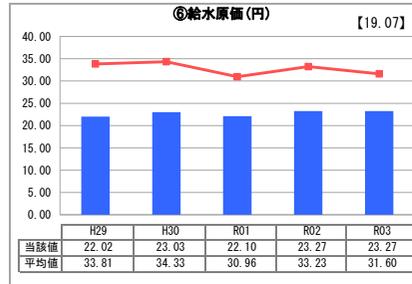
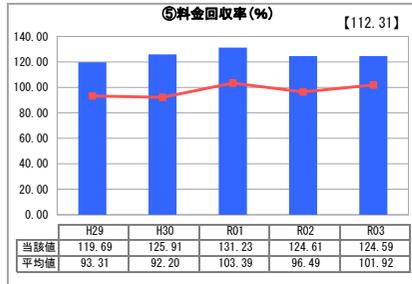
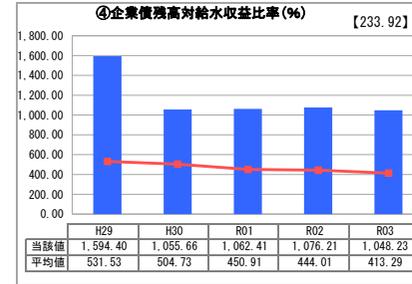
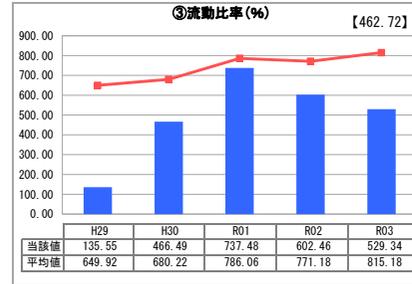
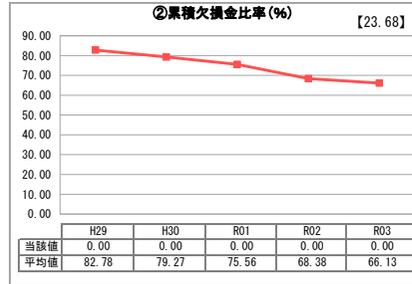
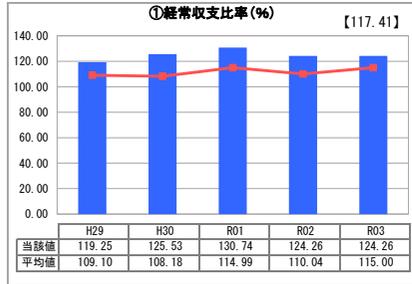
石川県 白山市
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	15,800	小規模	2	11,733
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	14.4	2	14,600	非設置	

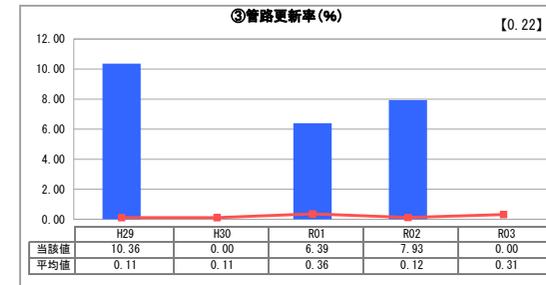
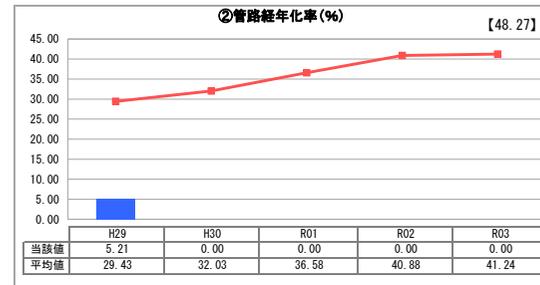
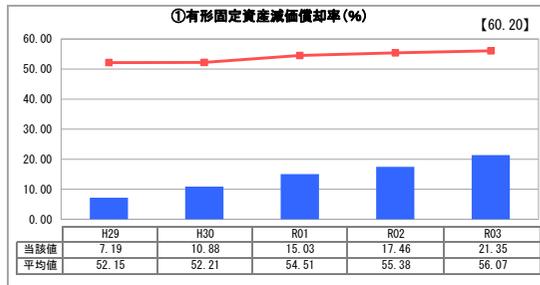
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については100%以上を維持しており、また、給水原価については類似団体と比較して低い水準である。なお、料金回収率については100%を超えており、適切な料金水準を保っていると言える。

一方、企業債残高対給水収益比率は、平成28年度の施設新設等の大型事業以降、平成29年度以後は減少に転じている。

なお、施設利用率は令和元年度以降徐々に増加しており、契約率は100%に近い、よって当面は安定した料金収入が見込まれる。

2. 老朽化の状況について

類似団体と比較して、施設の老朽化は進んでおらず、また、施設の新設等により平成29年度には減価償却率が大幅に低下した。

全体総括

当面は施設の更新需要はないが、将来の更新需要に備えるため、自己資金の充実を図るとともに、現在の経営状況を維持していくことが重要である。